

琉球大学学術リポジトリ

タイ現代建築における地域主義建築表現に関する研究：新国会議事堂設計競技案を通して

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2019-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 樹典T メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/44477

(様式第3号)

論文要旨

論文題目：タイ現代建築における地域主義建築表現に関する研究
～新国会議事堂設計競技案を通して～

本研究は、タイ新国会議事堂設計競技案に焦点を当て、現代タイにおける地域主義建築表現の実態を明らかにすることを目的としている。新国会議事堂設計競技が行われた2009年は、2つの潮流、地域意匠を取り入れたデザインと環境技術や制度が成熟し始めた時期であった。新国会議事堂設計競技の最終審査に残った5案を見てみると、地域意匠を用いたシンボリックな形状と環境問題に配慮したデザイン・技術が同居しているという特徴を共有しており、それは過去のタイ建築には見られない新しい建築のあり方を示しているといえる。このような2つの潮流、デザインの統合方法を明らかにすることで、タイ現代建築における地域主義建築表現の実態やその可能性について考察する。

本研究では以下の点に着目し、タイ建築家協会所蔵の図面や資料の分析及び新国会議事堂当選案の設計者に対するインタビューを実施し、収集した資料に対する研究を行った。

- 1) 過去の国会議事堂から見るタイにおける建築意匠の潮流
- 2) 環境意識の潮流
- 3) 設計競技案の建築表現

1) では、タイにおいて過去に国民議会が使用した2つの国会議事堂に焦点を当て、それぞれの時代の建築意匠の潮流を明らかにする。また、タイ建築家協会が発行する雑誌『ASA』から2つ目の国会議事堂以降の建築意匠や思想の潮流を明らかにする。

2) では、『ASA』やその他の資料から90年代以降から本格化した環境問題に対するタイ建築界の対応や制度の変遷、思想などを明らかにする。

3) では、設計競技の最終審査に残った5案の図面などの分析を通して地域意匠と環境デザインの統合手法を明らかにする。また、この設計競技で示された設計手法の今後の展望についても考察する。

以上のことからタイ新国会議事堂設計競技案の地域主義建築表現は、タイの近現代建築の積み重ねが表象したものであると位置づけられ、今後の東南アジア建築に影響を与える可能性を示すことができた。

氏名 佐藤 樹典